

活動歴報告書

(令和5年4月から令和6年3月まで)

活動内容総括表

	活動概要
①	<p>地域での地球温暖化防止活動支援事業 <環境省補助事業></p> <p style="text-align: right;">実施期間:2023 年度</p> <p>2030年目標年まで7年を切った状況の中、さらなる地域の気候変動対策の具体策が求められている。本事業では、地域の現状と課題、強みを生かして社会実装につなげるための取組を展開する。</p> <p>本年度は「共働」というキーワードを念頭に置き、地域センターとして、これまでに関わってきた県内の自治体、団体、学校関係、民間事業者、そして個人と共に「恒常的な脱炭素社会の実現」に向けた具体策を設計、実践していくことで、地球温暖化防止、気候危機に対する成果が得られることを目的としてきた。</p>
	<p>”YouTube チャンネル「和くらす」の動画制作&配信。</p> <p>①「マッチ 1 本で昼ご飯づくりにチャレンジ」`テーマ:防災とエネルギー & 気候変動について学ぶイベントを紹介。自然環境に関心を持った親子 12 名が参加、和やかな雰囲気や大自然の環境下での持続可能な暮らしへの興味を持てるような内容を紹介した。</p> <p>②「森を感じて森を学ぶ」`テーマ:森林資源豊富な和歌山県で、持続可能な環境と気候変動による影響について学び、関心層を拡充するイベントを紹介した。直接森林に入ることによって気候変動による動植物の変化について、今和歌山で起きていることをつぶさに伝える内容。</p> <p>③県立箕島高等学校・SDGs 文化祭での成果発表。まちの過疎化の現状理解と、建築や断熱についての専門知識を学び自らが課題解決に向けて行動していく様子に密着。視聴回数は、事業開始時(2023-06-01)から本事業期間中(2024-02-29)までに 105 回(3.6 時間再生)。</p> <p>動画視聴後のアンケートは 4 回。「どの取組も目的が明確で豊かさを感じる。自分の地域でも実施したい。」というコメントを視聴者から直接聞く機会があり、動画配信全体の一定の効果が継続していることが確認できた。</p>

県立箕島高等学校の探究授業の一貫として行われた授業企画として以下の取組を行った。9月～1月までの4ヶ月間で全8日(通算21時間)の出前授業を実施。/9月13日：高校1年生12名が「地域活性チーム」としてこの授業に参加。学校周辺の散策で空き家、空き店舗の多さを知り、課題解決のテーマが絞られ、まちづくりと改修&断熱を学ぶ授業を実施。地元の協力により利用予定がある空き店舗のデザイン計画を行う流れとなった。/10月：ニーズリサーチとして「放課後の過ごし方」について全校アンケートを実施し利用価値を高めるヒントを取得。/11月：暮らしで使うエネルギーの種類や必要性の授業を受けた後、家庭の脱炭素度を知るアンケートも実施し23件の回答を得た。/12月11日：改修計画に必要な知識を得るため、建築士、リノベーション専門家、建材の専門家の3名から基本的な考えを学んだ。/12月12日：結果、自分たち学生だけでなく地域の人々も巻き込める要素の必要性に気づき快適空間としての追求も行った。/12月13日：これまで集めた情報を元に2チームに分かれてコンペ形式のデザインプランを計画。/高さが伺えた。

- ・本事業によって招いた専門家による「断熱改修の社会実装」に向けた強力な関係者の構築が実現した。
- ・今年度は、授業時間の関係で空き家&空き店舗を含む地域の現状理解と改修案で終了したが、次年度以降の社会実践モデルとして積極的な計画を進めている。

・県内の市町村と連携し、地域の商工会および民間事業者関連団体と協働で、脱炭素経営に向けた動きのある事業者創出を目指していく

- ・対象地域は、脱炭素に関する補助制度検討の可能性のある3地域を想定
- ・主に市町村単位でセミナー開催を行い、参加者がイメージしやすいよう地域を意識した内容を工夫する
- ・希望する事業者に対し、脱炭素経営に係る社内意識向上となる支援を行う
- ・具体的には「2050カーボンニュートラル・カード・ゲーム」を実施し、今求められている脱炭素の流れと、これからの行動のヒントを共有することでより確実性のある経営方針を立てるきっかけを提供する

【自治体】・7月26日：今年度より「重点施策事業」を展開している那智勝浦町主催の地域の事業者向けセミナーに登壇し、地元経営者や住民ら32名が参加。

気候変動の現状と脱炭素経営の必要性について紹介した。事後「家庭の脱炭素チェック」アンケートを実施し12件の回答。重点施策事業は5年間継続予定の事業なので、引き続き当センターが連携し地域の脱炭素化を促進していく予定。/9月13日&15日：県内1市1町(紀の川市、かつらぎ町)にヒアリングし、それぞれ2名ずつ対応。現在、脱炭素政策の具体的な計画がない旨の返事。

以降、市町村ごとの事情や現状を把握しつつどのような方法で進めればよいか検討を重ねた。その結果、うまくいっている自治体の例に習い、環境部局と産業、観光など他の部局との横断的な対話を設定し、脱炭素地域づくりに向けた共通点やメリットなどを理解する機会づくりのプランの構築に着手できた。/12月8日：県の当センター担当課が「市町村脱炭素対策班」発足したため、双方の現在の状況について意見交換を行った。

現時点では県も各市町村のリサーチ&個別のアプローチにとどまっている。必要に応じて引き続き取組を進めていくこととなった。/2月20日：県主催の市町村の担当者会議に出席。地域の脱炭素推進の必要性や食品ロス対策をキーワードに地域循環の実装について紹介。県内30市町村のうち28市町が出席。市町村担当は、今後必須の政策という認識はあるものの様子見の状況。次年度以降は、県と協力しつつ上記のプラン

【事業所】・8月22日・23日：社員研修を実施。SDGsおよび気候変動についての理解と脱炭素を意識

	<p>できるプログラムを提供し、2日間で47名が受講し学びを深めた。カードゲーム体験と個々の思考のありかた&対話スキルを める機会が得られた。</p> <p>【学校】・7月14日：県立新宮高等学校からの依頼で、脱炭素カードゲームを使った授業プログラムを実施 した。1年生200名が5クラスで同時にゲーム体験を授業で、各教室ごとに展開。気候変動の現状とエネ ルギーに関心をもつきっかけとして「家庭の脱炭素チェック」アンケートを実施し124人から回答があった。 脱炭素に積極的に取り組もうとする各分野の団体とのつながりができ、次年度以降の優良事例として紹介し ながらさらに関係先を増やしていく事が可能となった。</p>													
②	<p>和歌山県草の根運動推進事業 <和歌山県委託事業></p> <p style="text-align: right;">実施期間：2023年度</p> <p>○地域協議会等の取り組みへの支援 ◆各種イベントへの出展等を支援</p> <p>○和歌山県温暖化対策情報誌『わおん通信(1,800部、年4回発行)を編集 ◆第49号(夏)、第50号(秋)、第51号(冬)、第52号(春) ◆バックナンバーはWeNETサイト内にて公開中</p> <p>○推進員養成講座</p> <table style="margin-left: 100px;"> <tr> <td>2023年7月15日</td> <td>@田辺市</td> </tr> <tr> <td>2023年7月30日</td> <td>@上富田町</td> </tr> <tr> <td>2023年9月24日</td> <td>@和歌山市</td> </tr> <tr> <td>2023年9月30日</td> <td>@かつらぎ町</td> </tr> <tr> <td>2023年10月21日</td> <td>@那智勝浦町</td> </tr> <tr> <td>2023年10月29日</td> <td>@岩出市</td> </tr> </table>	2023年7月15日	@田辺市	2023年7月30日	@上富田町	2023年9月24日	@和歌山市	2023年9月30日	@かつらぎ町	2023年10月21日	@那智勝浦町	2023年10月29日	@岩出市	
2023年7月15日	@田辺市													
2023年7月30日	@上富田町													
2023年9月24日	@和歌山市													
2023年9月30日	@かつらぎ町													
2023年10月21日	@那智勝浦町													
2023年10月29日	@岩出市													

③ 「おもしろ環境まつり」企画・運営等委託事業 <和歌山県委託事業>

実施期間:2023 年度

(1) 日時

開催日時:令和 5 年12月3日(土)11:00~16:00

(2) 場所

みその商店街 (和歌山市美園町 5 丁目 9-1)

(3)目的

地球温暖化をはじめとした環境問題に関し、日頃から取り組んでいる県内の民間団体等の取組を結集し、団体間の横の繋がりの構築を促進するとともに、子供たちを中心に楽しみながら学ぶ場を提供することで、環境保全活動の普及啓発を図り、第5次和歌山県環境基本計画が示す「将来にわたり笑顔と活気と魅力にあふれる和歌山～地球環境、自然環境及び生活環境が適切に保全され、豊かな環境がもたらす本県の魅力が地域の活性化につながっている持続可能な社会～」の実現に寄与することを目的とする。

(4)概要

◆6つのテーマ、気候、エネルギー、生き物、3R、防災、食と水に関する体験型の出展を実施。

◆YouTubeライブ配信:11:00~16:00、放送後アーカイブ動画を公開
公式WEBサイト公開期間:過年度から継続~令和6年3月31日(木)

(5) イベント参加者数

◆当日来場者数 約700人

※参加者数は、参加登録をされた方のみ的人数。当日は参加登録をされていない方も多く来場。

(6)実行委員会の実施(計8回)

- ・令和5年 6月28日(水) 第1回
- ・令和5年 7月25日(火) 第2回
- ・令和5年 8月24日(木) 第3回
- ・令和5年10月5日(木) 第4回
- ・令和5年10月31日(火) 第5回
- ・令和5年11月21日(火) 第6回
- ・令和6年2月13日(火) 第7回

④

海洋プラスチックごみ対策を主体とした環境保全教育事業 <和歌山環境保全公社委託事業>

実施期間:2023 年度

海洋プラスチックごみを含む廃棄物全般の実態を理解する機会をつくり、インターネット上のサービスを中心に啓発展開した。専用 WEB サイトにて、学習教材コンテンツの発信、参加者の継続的な自主活動につながるコミュニティの場を提供し、海洋保全への関心の高まりと実践者の活動記録への評価、成果の共有を図った。また、小学校の授業時間内で動画とフィールド学習の実践的な取組を展開し、学習指導の提案内容を固めた。

○教育内容の策定と企画立案

- ◆小学校を対象にした、環境学習プログラムの開発
- ◆授業内で、うみわかまもる動画を視聴用教材として使用
- ◆海洋環境学習の専門講師を派遣し、海洋問題のポイントについて解説

○広報・募集および受付

- ◆市民団体・公益団体主催イベントの支援
 - 広報展開のためビーチクリーン活動団体の取材&支援を行った
 - *2023年6月10日 片男波海水浴場@和歌山市[支援]
 - *2023年9月23日 片男波海水浴場@和歌山市[支援]
 - *2023年10月14日 ビーチクリーン&アート 名田町ビーチ@御坊市[取材]
- ◆うみわかまもるプロジェクト こども隊員任命式・次年度募集イベントを開催
 - 本プロジェクトに参加および活動した会員を対象に任命式を開催。
 - *2024年3月10日(日)
 - *てとこと市@本町公園(和歌山市北桶屋町7)

◆広報活動の実施

- ・和歌山バスへのラッピング広告の企画&制作(和歌山市運行の路線バス2台)
- ・各種イベントで紹介チラシ(まもる型のカード)配布(発行:3,500部)
 - ・うみわか会員登録者へ Tシャツを進呈(配布:73枚)
 - ・活動継続者用のピンバッジ作成(配布:28個)
 - ・新聞広告掲載(「環境月間特集企画」 ニュース和歌山/読売新聞 和歌山版)

○制作物・成果物

公式 WEB サイト(<https://umiwaka.net/>)の更新

- 【会員登録】335名(2024-03-31現在)
- (1) イベント情報、および活動レポートの掲載(並行し SNS 発信)
- (2) 新コンテンツの紹介(かみしばい/漫才動画)
- (3) 新規登録者の募集および、メンバー管理
- (4) 会員向けメールマガジンの発行(主にイベント開催情報)

You Tube チャンネルの運営

- 【チャンネル登録】81/再生回数 6,209回(総再生時間 195.4時間)
- (5) 活動レポート動画をアップロード
- (6) うみわかまもる本編をアップロード

コンテンツリスト(2024-03-31現在)

- コマーシャル動画:1作品(2分間 CM としてチャンネルトップで自動再生)
- メイン動画:7作品(事業テーマをシリーズで展開)
- サブ動画:14作品(キャラクター誕生/活動レポート他)

- うみわかまもる公式サイトにて各種イベント内容の更新(<https://umiwaka.net/>)

事前告知および活動レポートを発信

◆公式サイト:会員登録数 335 人 (2024-03-31 時点)

◆SNS サイトの運用&更新

*フェイスブック <https://www.facebook.com/umiwakamamoru/>

*インスタグラム <https://www.instagram.com/umiwakamamoru/>

⑤

食品ロス削減推進事業 <和歌山環境保全公社委託事業>

実施期間:2023 年度

食品の調達と廃棄行動の追跡調査を行った。そこから得られた様々な課題点を検証し、解決に結びつく具体例やアイデアを取りあげ、情報発信した。また、県民を中心としたアンケート調査を行い、共通する課題への解決につながるヒントや情報について啓発を行った。

食品(食材)の調達と廃棄行動に関するアンケート調査

令和4年度同様の継続調査を実施

- 前年比で変化項目を抽出、対策のヒントを探る
- ヒントを元に更に啓発内容を組みたてて事業に反映
- マスキングテープ(試作品)のモニター調査

○ イベント開催&出展による啓発活動

■7/9 てとこと市@和歌山市【出展】 ※雨天のため出展中止

■8/13 てとこと市@和歌山市【出展】

■9/9 関西広域連合プラスチックごみゼロ&食品ロス削減啓発イベント@京都市【出展】

■9/10 アルテリーヴォ和歌山試合会場@上富田スポーツC【出展】

■9/10 てとこと市@和歌山市【出展】 ※雨天のため出展中止

■10/7 弁慶まつり@田辺市【出展】

■10/8 てとこと市@和歌山市【出展】 ※雨天のため出展中止

■10/28 和歌山市駅前マルシェ@和歌山市【出展】

■11/3 子育てわくわく応援フェア@和歌山市【出展】

■11/12 てとこと市@和歌山市【出展】

■11/14 リアルもったいないキッチン@美浜町【開催】

■12/3 おもしろ環境まつり【出展】

■12/10 てとこと市@和歌山市【出展】

■1/14 てとこと市@和歌山市【出展】

■1/27 リアルもったいないキッチン@橋本市【開催】

■2/11 てとこと市@和歌山市【出展】

■2/22 リアルもったいないキッチン@和歌山市【開催】

■3/10 わかやま循環計画 DAY@和歌山市【開催】

○事業全体の情報発信

■ 食品ロス削減コンテンツ制作&配信による啓発

● 音声配信コンテンツ(5分程度)の作成、配信

● 「note」による情報発信(令和4年6月～)

⑥	<p>SAVEJAPAN プロジェクト <日本 NPO センター委託事業> 実施期間:2021年10月～継続中</p> <p>○『いきものみつけ！棚田復活大作戦』イベント共催 準絶滅危惧種の保護と育成(全6回) うち年度内2回(12月、1月)</p> <p>○わかやま生き物チャンネル[You Tube] 活動の様子を動画でレポート</p>
⑦	<p>理事会活動、組織の維持拡大に係る諸活動・対外活動 実施期間:2023年度</p> <p>○理事会活動 ◆今年度は4回開催し、これまでの団体活動全体の成果とふりかえりを行い、課題点と具体策について活発な意見が交わされました。 ◆関係団体が各々で抱える課題点、WeNET との連携を行えるしくみで発展的な展開を行うことが話し合われました。</p> <p>○組織の維持拡大 ◆個人会員は前年度比で運営会員 2 増、一般会員 4 減。団体会員が運営・一般ともに増減なし。事業者会員が運営 1 減、一般 1 増。全体で 2 減となりました。</p> <p>○対外活動・広報活動 ◆県環境表彰選考委員等、環境市民団体を代表し引き続き積極的な役割を担いました。また、地方自治体、森林組合や農協等の職能団体、企業等と積極的に連絡を取り合い、協力協同の輪を広げました。 ◆ネットワーク組織としてさらに有効な情報発信の手段を用いることが求められます。 ◆今後の収益化に向けた根本的な運営方法の検討が引き続き課題となっています。</p>